

更生保護 あおもり

【第77号】

発行日 平成26年1月1日
発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会 青森市長島1-3-25 電話017(776)6419



【早曉の種差(三陸復興国立公園)】

写真提供 八戸地区

新年を迎えてのあいさつ

青森地方検察庁
検事正 高島 久尚



新年明けましておめでとうございます。長い歴史を持つ我が国の更生保護制度は、その時代、その時代の要請に応えながら着実に歩み続け、多大なる成果を上げてきているところであり、これまで

の関係諸機関・団体の皆様方のご尽力とご協力に対して、深い敬意と感謝を申し上げます。

さて、平成24年の犯罪対策閣僚会議で策定された「再犯防止に向けた総合対策」に基づき、検察庁でも再犯防止対策に重点を置いて執務を行っているところですが、青森地検においても昨年「検察の理念8項委員会」を設置して対応しております。これは、検察職員が職務を遂行するに当たって指針とすべきことを定めた「検察の理念」の8項に規定された「・・・矯正、保護その他の関係機関とも連携し、犯罪の防止や罪を犯した

者の更生等の刑事政策の目的に寄与する。」に因んで再犯防止に特化した委員会ですが、何分これまでの検察においては、不起訴処分とした犯罪者に対する釈放後の刑事政策的配慮についての経験、ノウハウが不足していたことは否めないところであることもあって、個々の事案ごとに市町村役場の福祉担当者、精神保健福祉士、相談支援専門員、保護観察所、各施設の方々に相談させていただいて、それぞれのご協力を得て対応しているところであります。

このような活動を通じてうまく再犯防止の成果をあげることができた事例もあれば、当初は本人に更生意欲が認められたのに、時間が経つと施設内で問題を起こしたり、再犯に走ったりするという事例もあり、社会内更生の難しさを改めて痛感しているところですが、新年を迎えて、青森地検職員一同が地道にこのような職務遂行を続けることにより、少しずつでも再犯防止に寄与していきたいと思っておりますので、本年も関係諸機関・団体の皆様方のご協力の程を宜しくお願いいたします。最後になりましたが、本年が皆様方にとって良い年となりますことを祈念しております。

第15回「瀬戸山賞」受賞「むつ下北地区保護司会」

「瀬戸山賞」受賞によせて

むつ下北地区保護司会会長 中村 満雄

7月の「社会を明るくする運動強調月間」に併せて、管内5市町村を2日間にわたり実施している「下北一周愛のキャラバン」は平成25年で34回となりました。

この運動を始めた昭和55年当時の保護司会長さんの話では保護司は「カモシカ」や「北限のサル」を保護する人かと冗談を言われたこともあったそうです。

更生保護活動や犯罪予防活動に対する啓蒙・広報活動がいかに不足していたかを痛感したことが、下北半島を一周する「下北一周愛のキャラバン」を始める切っ掛けだったそうです。この運動には市町村をはじめとする各地区更生保護女性会、警察署等関係機関のご理解・ご協力が不可欠であります。

7月のはじめの2日間、市町村の広報車を提供してもらい、「社会を明るくする運動」の大きなステッカーを保護司の車に貼り付け広報をしながら下北半島を一周します。初日は毎年一校ずつ市内の中学校にパレードの先導をお願いしております。また、平成20年から学校との連携を深めるため、町村の中学校にお願いをして毎年一校ずつ町村長・警察署長に出席していただき、全校生徒の前で「社会を明るくする運動」のメッセージの伝達を実施しております。

その際、生徒からは①JAMPチーム活動の発表②吹奏楽部の演奏③郷土芸能の発表等をやっていただいております。実施した学校では生徒から当日の感想文を書いてもらい、「学校だより」に掲載し家庭に配布されています。また、作文コンテストに応募してもらった作文は文集を作成し応募校に配布しています。

これからも地域住民や学校との連携を深めながら「瀬戸山賞」に恥じない地域に根ざした活動が続けていきたいと考えております。



奥田理事長と受領代表の中村満雄氏
(むつ下北地区保護司会)

【瀬戸山賞とは】

法務大臣、文部大臣、建設大臣等の要職を歴任された故瀬戸山三男先生は、我が国の更生保護事業に深い理解を示され、日本更生保護協会理事長、全国保護司連盟会長及び全国更生保護会連盟理事長に就任されたからは、永年にわたり、正に、「仏の慈悲の権化」として、御自身で菩薩の道を実践し、事業の発展に大きく貢献されました。

「瀬戸山賞」は、更生保護制度施行50周年に当たり、先生の御遺徳を偲び、御功労を記念し、それを未来に引き継ぎたい…そんな関係者の熱い思いが一つになって、日本更生保護協会に創設されたものです。



光は己にあり。
長い人生で私が到達した人生観である。
万人、人それぞれに勝れた長所があり、
その長所を見出し、それを伸ばすことが
出来るか否かが人生の分れ目となるのである。
(瀬戸山 三男)

※上は、故瀬戸山三男先生の揮毫です。

第36回 青森県更生保護大会

大会宣言文より(一部抜粋)

私たち青森県の更生保護関係者は、先の東日本大震災を乗り越えて、地域社会とともに歩む東北の更生保護関係者と手を携えながら、国民の期待と要請に応え、その責務の重大なることに思いをいたし、犯罪をした者や非行のある少年の改善更生を図るとともに、地域に根ざした効果的な犯罪予防活動を推進するための一層の努力と精進を重ね、希望に満ちた、犯罪や非行のない明るい社会の建設に寄与することをここに宣言します。

平成25年11月13日(水)、青森保護観察所、青森県保護司会連合会等更生保護関係団体が主催し、青森県、五所川原市、板柳町、鶴田町、中泊町が共催で、五所川原市ふるさと交流圏民センター「オルテンシア」を会場に第36回青森県更生保護大会が開催されました。青森県内各地から参加者(保護司・更生保護法人役職員・更生保護女性会員・BBS会員・協力雇用主・就労支援事業者機構会員等)、参列者(関係機関・団体の代表者等)約750人が参加し、はじめに「更生保護とSST(ソーシャル・



会場舞台上手に飾られたミニ立ちねぶた



青森大学船木教授(右)と青森県立保健大学石田講師



五所川原地区 富田保護司会長



スキルズ・トレーニング)」と題して青森大学教授の船木昭夫氏が講演、式典では青森県保護司会連合会会長、青森保護観察所長の挨拶、五所川原地区保護司会会長が歓迎の言葉を披露し、その後の顕彰では法務大臣表彰などが行われ、来賓紹介の後、五所川原市長他の祝辞が披露されました。最後に総会が開かれ、宣言文が発表・採択され万歳三唱で大会を終了しました。



浜島東北地方更生保護委員会委員長(写真右)と法務大臣表彰を受けられた方々



総会での議長団の方々

青森保護観察所における社会貢献活動

青森保護観察所保護観察官 森内 潤

社会貢献活動は、保護観察中の人たち（以下「対象者」といいます。）が地域社会に貢献する活動を行うことを通じて、社会や人の役に立てるという感情（「自己有用感」）を育み、「規範意識」「社会性」の成長を促すことにより、改善更生・再犯防止を図るものです。

さて、平成25年6月13日、更生保護法の一部改正が可決成立し、特別遵守事項の類型に「善良な社会の一員としての意識の涵養及び規範意識の向上に資する地域社会の利益の増進に寄与する社会的活動を一定の時間行うこと」が加えられ、その日から二年以内に社会貢献活動が本格実施となる運びとなりました。

青森保護観察所においては、平成24年度には14か所で計23回の活動を実施しました。活動には対象者35人、社会貢献活動担当保護司44人、更生保護女性会や一般の協力者など13人（いずれも延べ数）が参加しました。さらに、本年度（平成25年度）は地理的な面や交通機関の問題などを考慮し、管内11保護区全てに活動場所を設けようと取組み、平成25年12月末までに22か所で計35回の活動を実施しました。主な活動は、公園・河川・海岸・駅の清掃活動、老人ホームや障害者施設での清掃活動と介護補助などですが、本稿では、その一端を紹介します。

【無人駅での清掃活動】

第三セクター鉄道である『青い森鉄道』の東青森駅（無人駅）においては昨年度中に4回の活動を実施し、延べ5名の対象者が参加しました。本年度は活動日を第四木曜日と決め、7月から毎月活動を実施しています。これまでの活動場所は福祉施設が多く、ほとんどの施設が少年対象者限定であったことから、成人対象者の活動場所開拓が課題でした。鉄道会社OBである保護司に無人駅の清掃活動ができないかと相談したところ、率先して企業側との交渉にあたってくださり、社会貢献活動担当保護司として実際の活動にも毎回参加して下さっています。駅連絡通路や駅前広場の清掃、自転車整理のほか、冬期間には除雪作業も行いました。本年度はさらに『弘南鉄道』『津軽鉄道』とも交渉し、活動できる無人駅を増やしました。

活動中に駅利用者から励ましや感謝の声を掛けられることもあり、社会貢献活動の主目的である「自己有用感を得る」ことができるとても有意義な活動だと感じております。初回から参加している無職の四号観察対象者は、この活動への参加を楽しみに待っている様子であり、その意欲をいかに就職へ結びつけるかが処遇上の新たな課題となっています。



【今後の取組】

御紹介したとおり、多くの保護司や更生保護女性会員などの御理解と御協力に支えられて、活動場所の確保、実際の活動は順調に進んでおります。今後の重要な課題は、内容の充実です。活動中には社会貢献活動担当保護司や保護観察官が対象者に声掛けをするなどして一体感を持って活動できるよう配慮していますが、さらに、対象者の自己有用感等を高めるべく、社会貢献活動担当保護司や保護観察官からの一言を添えるような振り返りシートを考案中です。

今後とも、御協力のほどよろしく申し上げます。

おめでとうございます。(敬称略)

◆平成25年叙勲

【瑞宝双光章】

種市 美佐男 (上十三) 更生保護功労 (保護司)
 白石 又右エ門 (野辺地) 更生保護功労 (保護司)
 嶋口 昭男 (弘前) 更生保護功労 (保護司)

◆平成25年褒章

【藍綬褒章】

鈴木 富江 (鯉ヶ沢) 更生保護功労 (保護司)
 南川 定一 (むつ下北) 更生保護功労 (保護司)
 廣田 昌良 (八戸) 更生保護功労 (保護司)
 小山田 顕裕 (五所川原) 更生保護功労 (保護司)

【瀬戸山賞】

むつ下北地区保護司会 (むつ下北)



◆平成25年被表彰者名簿

法務大臣表彰【保護司】

神 和子 (青森)	東 頭 戌 (青森)
鎌 田 喜代志 (青森)	對 馬 和子 (弘前)
高 橋 月 磨 (八戸)	高 瀧 壽男 (八戸)
荒 井 隆 (五所川原)	三 浦 邦雄 (五所川原)
坂 本 徳雄 (鯉ヶ沢)	蛭 名 諭 (上十三)
蛭 名 敏彦 (野辺地)	

法務大臣表彰【民間篤志家】

中村 盛江 (五所川原)
 株式会社竹内組 (代表取締役 竹内 忠義) (五所川原)
 医療法人華峰会 (理事長 富田 重照) (五所川原)

全国保護司連盟理事長表彰【保護司】

鳴 海 峰 泰 (青森)	森 山 忠 雄 (弘前)
溝 江 トク (弘前)	藤 田 眞佐子 (八戸)
上 田 祥 悦 (八戸)	白 戸 治 (南黒)
黒 瀧 恭 一 (河南)	秋 田 信 幸 (五所川原)
山 形 幸 子 (五所川原)	小 田 原 良 三 (つがる)
木 明 昭一郎 (野辺地)	吉 田 み さ (むつ下北)

全国保護司連盟理事長表彰【内助功労】

遠 間 敏 子 (青森) 七 戸 恵 子 (つがる)

東北地方更生保護委員会委員長表彰【保護司】

山 口 恵美子 (青森)	加 藤 節 子 (青森)
風 晴 洋 子 (青森)	白 坂 順 子 (青森)
樋 口 修 三 (青森)	石 田 繁 義 (青森)
菱 谷 貞 信 (弘前)	百 目 木 啓 司 (八戸)
久 保 澤 良 美 (八戸)	吉 内 トモエ (八戸)
青 木 功 (八戸)	森 田 忠 (八戸)
笹 森 昭 二 (八戸)	白 取 正 美 (南黒)
平 野 誠 観 (南黒)	菊 池 つ る (河南)
今 井 侑 (河南)	阿 部 妙 子 (河南)

成 田 たけ子 (五所川原)	木 村 慶 憲 (五所川原)
三 上 良 淳 (五所川原)	柳 引 ユキ子 (五所川原)
白 戸 秀 樹 (五所川原)	飯 田 麗 子 (つがる)
野 呂 修 身 (つがる)	平 川 蓉 子 (つがる)
對 馬 順 子 (つがる)	神 内 裕 子 (つがる)
秋 松 隆 雄 (鯉ヶ沢)	堀 正 人 (鯉ヶ沢)
高 穂 博 幸 (野辺地)	金 澤 文 子 (野辺地)
祐 川 健 尚 (むつ下北)	

東北地方保護司連盟会長表彰【保護司】

石 田 康 男 (青森)	川 嶋 勝 美 (青森)
伊 藤 尚 三 (青森)	笹 武 志 (青森)
小野寺 幸 治 (青森)	鈴 木 登 (弘前)
石 山 つき子 (弘前)	木 村 鯛 貴 (弘前)
長 内 幸之修 (弘前)	工 藤 茂 雄 (八戸)
佐々木 實 (八戸)	馬 渡 麟 太郎 (八戸)
小笠原 昭 治 (八戸)	加 久 藤 忠 志 (八戸)
鶴 飼 千 年 (八戸)	工 藤 保 義 一 (八戸)
浅 利 正 昭 (南黒)	工 藤 茂 人 (南黒)
小山内 牧 夫 (南黒)	柴 田 博 明 (南黒)
藤 本 フミ子 (つがる)	佐 藤 昌 子 (つがる)
吉 田 誠 也 (つがる)	清 野 た る 子 (鯉ヶ沢)
柏 崎 美 江 (上十三)	小 比 類 巻 紀 子 (上十三)
佐 藤 弘 人 (上十三)	乙 供 洋 子 (野辺地)
飯 田 弘 志 (野辺地)	蛭 澤 正 雄 (野辺地)
中 嶋 達 雄 (野辺地)	鎌 田 登 美 子 (野辺地)
中 村 満 雄 (むつ下北)	

東北地方保護司連盟会長表彰【内助功労】

柳 引 菊 枝 (青森)	柳 田 公 子 (弘前)
穂 積 たか子 (八戸)	富 田 重 照 (五所川原)
長谷川 洋 子 (上十三)	

青森県知事感謝状【保護司】

神 和 子 (青森)	東 頭 戌 (青森)
鎌 田 喜代志 (青森)	黒 瀧 信 行 (弘前)
森 山 忠 雄 (八戸)	高 瀧 壽 男 (八戸)
橋 本 敏 子 (八戸)	高 藤 田 眞 佐 子 (八戸)
七 戸 賢 逸 (つがる)	河 村 克 政 (上十三)
岩 城 和 子 (上十三)	種 市 一 正 (上十三)
石 田 美津子 (上十三)	山 崎 誠 一 (上十三)
田 中 淳 一 (むつ下北)	岩 清 水 秀 一 (むつ下北)

青森保護観察所長表彰【保護司】

山 形 民 雄 (青森)	大 柳 常 弘 (青森)
棟 方 公 男 (青森)	工 藤 ノ リ (弘前)
伊 藤 公 正 (弘前)	花 松 伸 樹 (弘前)
小 松 史 明 (八戸)	工 藤 威 美 子 (八戸)
野 沢 秀 明 (八戸)	日 沢 忠 道 (八戸)
山 口 義 裕 雄 (八戸)	淡 路 正 彦 (八戸)
山 口 裕 貢 (八戸)	武 内 慶 雄 (八戸)
菊 地 愛 子 (南黒)	石 澤 薫 久 (南黒)
佐々木 幸 子 (河南)	三 浦 敏 雄 (河南)
角 田 好 隆 (五所川原)	伊 藤 敏 雄 (五所川原)
山 口 龍 之 進 (五所川原)	伊 藤 直 市 (五所川原)
七 戸 満 (つがる)	松 沢 忠 男 (鯉ヶ沢)
前 田 憲 良 (上十三)	保 土 沢 喜 美 栄 (上十三)
白 濱 清 修 (むつ下北)	蛭 嶋 正 男 (むつ下北)

青森保護観察所長感謝状【BBS会員】

山 上 結 衣 (弘前大学)	紺 野 宏 美 (弘前大学)
福 山 瑞 紀 (弘前大学)	宇 澤 建 哉 (弘前大学)
高 谷 賢 (青森大学)	對 馬 俊 樹 (青森大学)
菊 池 貴 光 (青森大学)	大 内 藏 直 也 (青森大学)
伊 東 沙 有 梨 (青森大学)	西 館 翔 子 (青森大学)
木 村 彩 (青森大学)	田 名 部 哲 平 (青森大学)
工 藤 亮 (青森大学)	日 野 千 里 (青森大学)
浅 田 祥 実 (青森大学)	浅 田 祥 実 (青森大学)

乗田 悠介 (青森中央学院大学) 松坂 俊牙 (青森中央学院大学)
 神光 正 (黒石) 斎藤 哲雄 (黒石)
 松野 弘子 (黒石)

青森保護観察所長感謝状【民間篤志家】

(株)半田硝子建材 (代表取締役 半田 秀美) (五所川原)

青森県保護司会連合会長表彰【保護司】

秋山 由美子 (青森)	鬼柳 久美子 (青森)
大坂 收 (青森)	伊藤 文隆 (青森)
工藤 ひとみ (青森)	菅原 雅之 (青森)
工藤 清子 (青森)	柿崎 稔 (青森)
工羽 賀恵子 (青森)	阿部 哲 (青森)
工地 藤生 (弘前)	井ノ上 昭次郎 (弘前)
久保 昭二 (八戸)	高谷 常夫 (八戸)
畑中 義信 (八戸)	松本 保策 (八戸)
奈良 浩 (河南)	外川 精輝 (河南)
工藤 博暎 (五所川原)	小山内 誠 (つがる)
相馬 良二 (鯉ヶ沢)	田中 潤一 (上十三)
奥 義男 (上十三)	田中 正徳 (野辺地)
辻 登志雄 (むつ下北)	

青森県保護司会連合会会長表彰【内助功勞】

工藤 イト子 (八戸)	尾野 栄子 (つがる)
蛭名 ヤマ (上十三)	立花 美保子 (むつ下北)

青森県保護司会連合会会長表彰【民間協力者】

久慈自動車工業(株) (代表取締役社長 久慈 広隆) (八戸)

青森県就労支援事業者機構会長表彰【民間協力者】

(株)眞照堂 (代表取締役社長 中村 彰) (八戸)

◎更生保護女性会員

法務大臣感謝状

柿崎 美恵 (青森)	工藤 キミエ (弘前)
石田 美津子 (十和田)	

日本更生保護女性連盟会長表彰

木原 京子 (青森)	水木 トミ子 (大鰐)
吉田 絹枝 (おいらせ町)	乙供 洋子 (東北町)

東北地方更生保護委員会委員長感謝状

福嶋 英子 (八戸)	森田 君子 (平内)
半崎 久美子 (七戸)	築田 美津子 (おいらせ町)
三浦 智子 (五戸)	伊藤 ヒサ (つがる)
熊谷 幸子 (大間)	

東北地方更生保護女性連盟会長表彰

田澤 花江 (青森)	風晴 ふさ (青森)
岩間 和枝 (青森)	蝦名 トシ子 (青森)
須藤 恵子 (青森)	市川 敦子 (青森)
福土 良子 (弘前)	葛西 みゑ (弘前)
高松 橋野 (五所川原)	鳴海 節子 (五所川原)
高松 誠子 (五所川原)	渡辺 光子 (八戸)
内城 陽子 (八戸)	土岐 ハルミ (八戸)
山口 サツ (黒石)	中原 スミ (三戸)
岡田 嘉津 (三戸)	高杉 よし子 (平内)
小田 妙子 (七戸)	高田 フミ (七戸)
小林 和子 (十和田)	芳賀 雅子 (大鰐)
須藤 つ子 (むつ)	野坂 庸子 (むつ)
泉 登喜子 (おいらせ町)	竹谷 ユリ (中泊町)
佐藤 秀子 (大畑)	童口 みつみ (鯉ヶ沢)
駒井 綾子 (野辺地)	野口 アキ (三沢)
野々宮 けい子 (三沢)	川村 アキ (東北町)
小林 絹 (東北町)	高奥 恵 (五戸)
米澤 いく子 (板柳)	天坂 ヤト (つがる)
東田 やま (東通)	相馬 コ子 (鶴田)
吉田 ひさ子 (鶴田)	張江 節子 (大間)
野呂 えい (藤崎)	



第36回青森県更生保護大会での表彰者代表謝辞

青森保護観察所長感謝状

久大 慈都 々々 (青森)	藤田 桃代 (青森)
澤良 澤ミエ子 (青森)	木村 マツエ (青森)
奈成 田キエサ (青森)	三浦 トウキ (弘前)
阿部 徳子 (弘前)	加藤 久キヒ (五所川原)
村井 精子 (八戸)	宮下 光子 (八戸)
大館 道子 (八戸)	鎌田 恵美子 (黒石)
工藤 永子 (三戸)	木村 八千代 (三戸)
小形 和子 (平内)	石田 いくよ (七戸)
古屋 敷マ (七戸)	小山田 サヨ (十和田)
油川 美智子 (大鰐)	橋本 秀子 (むつ)
油川 節子 (むつ)	橋本 恵枝 (平賀)
今島 ヨシエ (中泊町)	葛西 三玲 (鯉ヶ沢)
久野 エツ子 (大畑)	石井 孝子 (三沢)
中山 恵子 (野辺地)	石橋 京子 (東北町)
大沢 クニ (三沢)	蛭田 久美子 (板柳)
竹内 耀子 (五戸)	安田 トシエ (鶴田)
野呂 佳代子 (つがる)	成田 幸子 (大間)
野呂 マチエ (藤崎)	吉田 悦子 (六戸)

青森県更生保護女性連盟会長表彰

葛西 澄江 (青森)	山田 チヨエ (青森)
稲野 光子 (青森)	水田 文子 (青森)
小泉 則子 (青森)	木村 幸子 (青森)
吉川 一容 (弘前)	山本 喜久 (弘前)
小島 きみゑ (五所川原)	木村 トミエ (五所川原)
高橋 遊 (五所川原)	木村 トミエ (五所川原)
高橋 麗 (五所川原)	小野 雅子 (八戸)
沼館 房子 (八戸)	加藤 恵子 (八戸)
高橋 アキ子 (黒石)	山内 小百合 (三戸)
小野寺 妙子 (三戸)	浜中 ミヨエ (平内)
杉村 せきゑ (七戸)	真鍋 百合子 (七戸)
澤口 冬百子 (十和田)	佐藤 イサ (大鰐)
阿部 英子 (むつ)	高石 房子 (むつ)
三村 トワ (おいらせ町)	高橋 美穂子 (中泊町)
千賀 けい子 (大畑)	三ッ谷 イツ (鯉ヶ沢)
松橋 恵子 (野辺地)	板垣 美瑛子 (三沢)
小比類 巻和子 (三沢)	蛭名 まさ子 (東北町)
小泉 禮子 (五戸)	安田 牧子 (板柳)
小蝦 名桂子 (つがる)	東田 眞理子 (東通)
秋庭 ミチ子 (鶴田)	菅 悦子 (鶴田)
上吉 陽京子 (大間)	

保護司の異動

○依願解嘱

前多 栄子 (五所川原) (平成25年9月10日)

【お詫び】

第76号で誤りと漏れがありました。訂正してお詫び申し上げます。

○新任保護司 (平成25年3月1日付け)

成田 隆博 (つがる) 横田 信行 (上十三)

次の方々から浄財が寄せられました。厚く御礼申し上げます。

(更)青森県更生保護協会寄附者御芳名

- 〈平成25年7月1日～平成25年11月30日〉(敬称略)
- 〈20万円〉八戸地区保護司会
- 〈10万円〉川嶋勝美
- 〈5万円〉千葉満・中村勝弘
- 〈4万円〉黒瀧信行・藤井洋一郎
- 山口正春・武田隆一
- 石田恒久・永澤弘夫
- 田邊孝美・石田憲久
- 〈3万円〉青森地区更生保護女性会
- 上十三地区保護司会・五所川原地区保護司会
- 天内修・沼田桃子
- 鈴木泰雄・三浦順子
- 佐藤満廣・遠間善弘
- 三浦美枝子・神和子
- 半田秀美・大瀧次男
- 大坂健藏・加川史
- 柿崎雅美
- 〈3千円〉常木豪志

(更)あすなる寄附者御芳名

- 〈平成25年7月1日～平成25年11月30日〉(敬称略)
- 〈3万円〉弘前地区更生保護女性会
- 〈2万円〉遠間善弘・永澤弘夫
- 川村一夫・関和敏
- 長谷川清・神越和子
- 黒瀧信行・堀越雄亮
- 泉山益宣・大井大
- 〈1万円〉盛トク・森山和美
- 天内修・柿崎重昭
- 櫛引ユキ子・佐々木晃
- 杉本とす江・山崎繁一
- 橋本敏子・成田慈
- 佐々木彪造
- 高谷善章
- 〈4千4百円〉八戸地区保護司会

会員として次の方々からご支援いただきました。厚く御礼申し上げます。

(更)青森県更生保護協会会員御芳名

【賛助会員】津軽開発協同組合

〈平成25年7月1日～平成25年11月30日〉(敬称略)

【普通会员】青森県内保護司577名

第46回 青森県更生保護女性連盟

秋の集い

八戸地区更生保護女性会 会長 橋本 敏子

10月10日、八戸市公民館（文化ホール）において「第46回秋の集い」が、県内各地区会員参加のもと開催されました。八戸地区更生保護女性会設立50周年を迎えたのを機に、八戸地区が担当。530名を超える参加者で満席となる中、表彰式では会員131名が各賞を受彰。

講話「陶房雑話」の中で、薩摩焼15代沈壽官氏の「韓国と日本の二つの祖国を持つ悩み」「伝統とは新しい試みの積み重ね」との言葉が強く心に残り、深い感銘を受けました。

宣言文を満場一致で承認し、清興は、「正調八戸小唄一若柳京宏社中10名」の舞を披露、集いを終了致しました。



薩摩焼15代 沈壽官氏

来年の第47回青森県更生保護女性連盟「秋の集い」は五所川原地区が担当です。

更生保護サポートセンター

八戸地区更生保護サポートセンター



県内第1号のサポートセンターとして、平成24年1月30日開所式が行われ、5人が企画調整保護司に任せられた。本格業務は4月から企画調整保護司が常駐し始まった。

もともと、当地区保護司会は福祉公民館内に事務局を設け活動していたが、常駐することにより保護司・関係機関との連絡や調整等がスムーズになった。更なる更生保護活動の充実、地区保護司会の活動拠点となるべく活動中。

- 開所時間 / 月～金曜日 AM 9:00～PM 3:00
- 休日 / 土・日・祝日・年末年始
- TEL・FAX 0178-44-8705 / 090-2605-3573
- 住所 / 〒031-0001 八戸市類家4-3-1 八戸市福祉公民館内

青森地区更生保護サポートセンター



当サポートセンターは、平成24年10月にプラザあすなる2階に開所、企画調整保護司が月～金曜日、午前9時～午後4時まで交代で常駐しています。保護司からの相談・問い合わせに対応、保護司同士のコミュニケーションの場として開放しています。また地区事務局も兼ねています。企画調整保護司は今年度5名増員し、計13名となっています。具体的な活動として、第3金曜日には少年鑑別所の担当官が来所し、保護司との相談や懇談に対応しています。また保護司任命後3～4年の保護司を対象に意見交換会を開催、保護観察対象者との対応や保護司会への意見など活発な意見がたくさん出て、時間をオーバーするほどでした。メンバーを変えて、年度内2回ほど開催する予定です。

- 開所時間 / 月～金曜日 AM 9:00～PM 4:00
- 休日 / 土・日・祝日・お盆・年末年始
- TEL 017-763-0763 FAX 017-763-0764
- 住所 / 〒030-0861 青森市長島1-3-28 更生保護施設プラザあすなる内

県西つがる更生保護サポートセンター



地域処遇ネットワーク会議を12月13日森田地区民生児童委員と開催

当サポートセンターは、平成25年4月にJR陸奥森田駅前の旧森田村商工会館に開所しました。当地区の保護司会のほか、五所川原地区と鯉ヶ沢地区の保護司会も利用できます。つがる地区保護司会の七戸会長がセンター長を務め、経験豊富な保護司による企画調整保護司7人態勢で運営し、同保護司が常駐します。

これまで保護司宅でしていた保護観察対象者との面接を同センターで行えるほか、保護司同士の意見交換や福祉施設・医療機関・自治体との協議の場としても活用しています。

- 開所時間 / 月～金曜日 AM 9:00～PM 4:00
- 休日 / 土・日・祝日・年末年始
- TEL 0173-26-4848
- 住所 / 〒038-2817 つがる市森田町床無緑野10-17 JR陸奥森田駅前(旧森田村商工会館)

更生保護サポートセンター三沢



当サポートセンターは、平成25年12月に、三沢市幸町1丁目の三沢市交通防犯センター内に開所し、企画調整保護司10名で月曜～金曜日、午前9時～午後3時まで交代で常駐しています。

地区の保護司からの処遇相談へのアドバイスや関係機関との連携強化を図るほか、地域からの相談受付も行う予定です。

- 開所時間 / 月～金曜日 AM 9:00～PM 3:00
- 休日 / 土・日・祝日・年末年始
- TEL・FAX 0176-51-1248
- 住所 / 〒033-0011 三沢市幸町1-8-15 三沢市交通防犯センター内

更生保護あおもり 編集委員の紹介						
編集委員長	編集長	編集委員	編集委員	編集委員	編集委員	編集委員
 田邊孝美 青森県更生保護協会 常務理事	 樋口修三 企画調整保護司(青森)	 石田道夫 青森県保護司会連合会 常務理事	 秋山由美子 保護司(青森)	 丹藤弘子 青森地区更生保護女性会	 田村清司 保護司(弘南)	 才川雅明 保護司(県南)
編集委員	編集委員	編集委員	編集事務局	編集事務局	編集事務局	黄色い羽根は、 社会を明るくする運動の シンボルマークです。 
 今 詔子 保護司(県西)	 四戸 巧 保護司(県央)	 鈴木道行 青森保護観察所長	 齋藤誠弥 青森保護観察所 企画調整課長	 常木豪志 青森保護観察所 保護観察官	 鬼柳久美子 青森県更生保護協会 主事	

ブロック研修報告

【県央ブロック】

～野辺地地区からの報告～



平成25年度県央ブロック保護司研修会が11月29日(金)に野辺地町「まかど温泉ホテル」において行われました。講演では、青森地区更生保護サポートセンター長の石田道夫氏によるセンターの開設と運営状況について詳細な説明がありました。

また、野辺地警察署刑事生活安全課生活安全係長の伊藤哲也氏による特殊詐欺の発生とその手口について、県内における「振り込め詐欺」「もうけ話詐欺」等の巧妙な発生事例等の紹介がありました。

質問の中では、実際に詐欺らしき電話がありその対処法を聞くなど有意義な研修会となりました。

【県南ブロック】

～上十三地区からの報告～



平成25年11月26日、県南ブロック別保護司特別研修会が「きざん三沢」で会員87名参加で開催されました。当番地区種市美佐男会長が開会の挨拶を述べ、全員で保護司信条を唱和しました。

保護司会連合会副会長の八戸地区の小野寺和子様から御祝辞をいただきました。午前は野坂篤司氏から「ありがとうのこころ」の演題で講演をいただきました。午後は八戸地区保護司会青木功保護司による「生きる力をつける支援のために」～保護司面接のためのSST～という題で資料に基づいて話され、上十三地区保護司会泉登喜子保護司から「保護司適任者の確保と育成を支援するため保護司又は保護司会としての配慮すべき事項について」の題で話されました。

【編集後記】

タイトルロゴを一新してから2回目、第77号の発行にあたり、各編集委員の方々より、貴重なご意見・アイデアをいただき、各地域別の活動がよりわかりやすく載っています。

今年も各編集委員は、お・も・て・な・し・・・の心で、編集に取り組みたいと思っています。(T.T)

